

日医発第 741 号（法安）

令和 6 年 7 月 24 日

都道府県医師会「警察活動協力医会」代表者 殿

死因究明担当理事 殿

日 本 医 師 会

常任理事 細川 秀一

（「死因究明等の推進に関する研究」
研究代表者）

厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進研究事業
「死体検案料に関する意識調査」 調査結果について（御礼とご報告）

死因究明制度の充実については、日頃から格段のご理解を賜り御礼申し上げます。

令和 6 年 3 月 21 日付 日医発第 2228 号（法安）文書にてご協力の依頼を申しあげました厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進研究事業「死因究明等の推進に関する研究」（研究代表者 細川秀一 日本医師会常任理事）にて実施の「死体検案料に関する意識調査」につきましては、このたび集計結果を研究報告書としてとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

意識調査では主に、これまで研究班にて検討を重ねてきた死体検案・検案書発行料に係る料金についての考え方や算定例について、検案業務に従事する機会の多い全国の警察活動に協力する医師の先生方を主な対象として、ご意見をお伺いたしました。その結果、全国から約 800 件のご回答をいただくことができました。ご協力いただいた先生方におかれましては、ご多忙中にも関わらず貴重なご意見、ご回答を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。調査結果の詳細につきましては、本会ホームページ掲載の報告書をご高覧くださいませよう、お願い申し上げます。

https://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/siin/003770.html

先生方のご協力のおかげをもちまして、今後の国の死因究明体制の充実に資する研究成果が得られましたことを心より感謝申し上げます。今後とも引き続き、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。